

学校向け『スタディサプリ』でAI搭載・アダプティブ学習機能の提供開始

AIレコメンド機能により、先生の負担を増やさず個別最適化学習を進化

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、学校向けのサービスとして提供しているスタディサプリにおいて「アダプティブ学習機能（おすすめ講義機能）」を追加しました。これにより、生徒ごとに“今学習すべき”最適なコンテンツが『スタディサプリ』上に表示され、一人ひとりに寄り添う学習を実現します。

アダプティブ学習機能の概要

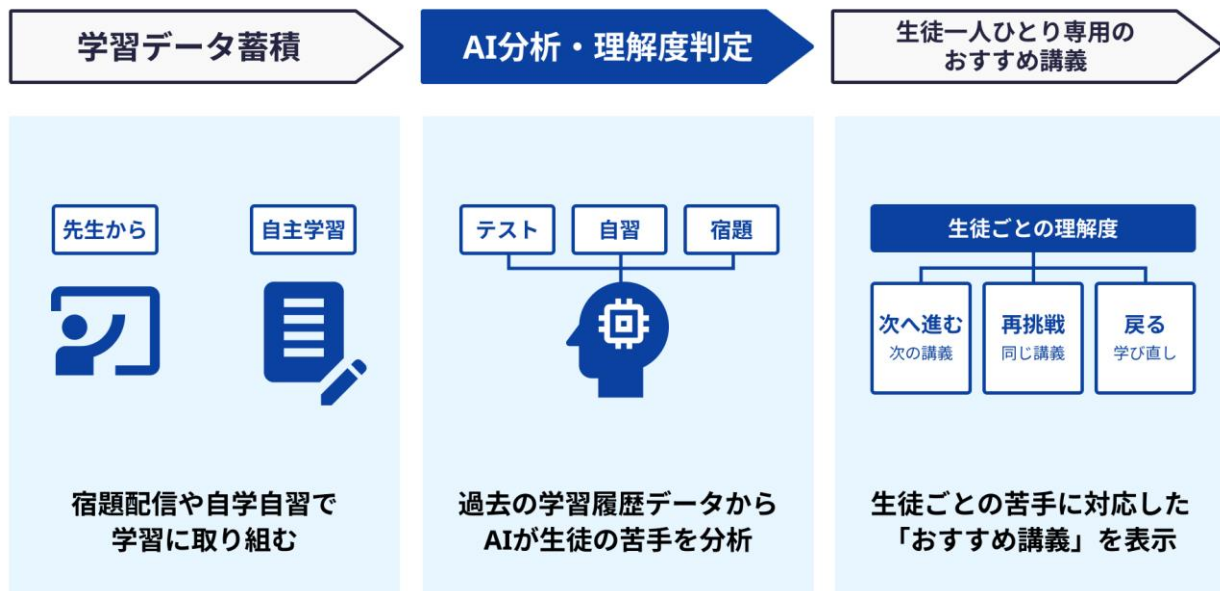
生徒一人ひとり専用のおすすめ講義を表示

先生による宿題配信や自学自習で取り組んだ過去の学習履歴データと、スタディサプリ講師の教科知見を基に、独自開発したAIが生徒ごとの「習熟度」および「つまずきポイント」を判定します。生徒が次に取り組むべき最適なコンテンツは「おすすめ講義」としてスタディサプリ上に表示（※）されます。提示される「おすすめ講義」は生徒ごとに異なり、学校内外における個別最適な学習が可能となります。

対象学年：高校1～3年生 対象教科：英語・数学

（※）「おすすめ講義」の表示機能は段階的な展開を予定しています。

スマホアプリ（iOS/Android）での閲覧は2023年度上半期以降から可能となる予定です。



スタディサプリ

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

アダプティブ学習機能で実現したいこと～販促領域プロダクトマネジメント室（まなび）室長 池田 脩太郎のコメント～

これまでリクルートは、学校向け『スタディサプリ』の宿題配信や進捗管理、コミュニケーション機能の提供を通じて、先生方の学習の伴走・サポート、よりよい指導の実現を目指してきました。これまで先生起点で活用いただいていた「宿題配信」、到達度テストの結果に連動した「連動課題配信」、宿題正答率に応じて自動でフォローアップの課題を配信できる「フォローアップ配信」にプラスして、生徒起点の「アダプティブ学習」が加わることで先生の負担を増やすことなく、個別最適な学習の進化を実現します。今後とも先生方の業務効率化へ寄与するツールの提供を通じ、先生が生徒と向き合い、必要な進路/学習指導に時間を活用いただけるようサポートしていきます。

学校向け『スタディサプリ』について <https://teachers.studysapuri.jp/>

学校教育のサポートツール『学校向けスタディサプリ』は、先生の“子ども一人ひとりに寄り添いたい”をICTでサポートするツールとして、全国の高校・小中学校で活用されています。児童生徒一人ひとりの学習習熟度に合わせた良質な講義動画・オンラインの確認テストなどを通じ、日々の授業の復習や家庭学習の促進にご利用いただいています。2022年3月末時点では全国の高校の約4割にあたる約1,947校で導入されています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>